



シャンゼリゼ 1989年 油彩 銀泉画廊蔵

セーヌの岸辺から *Un Balcon sur la Seine*

画業60年

# 村山密展

2000年6月6日[火]—7月16日[日]

◎休館日=毎週月曜(6月12日、19日、26日、7月3日、10日) ◎開館時間=午前9時—午後5時(入館は4時30分まで)

◎入館料=一般300円(240円)/小中学生100円(80円)

※( )内は10名以上の団体料金/65歳以上の方及び障害者の方は無料/第2・第4土曜日は小中学生無料

◎主催=渋谷区立松濤美術館/朝日新聞社 ◎共催=NHK ◎協力=ANA

■講演会=6月18日(日)午後2時~「村山密—その人と芸術—」茨城県近代美術館企画課長 金原宏行氏

渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 Tel. 03-3465-9421

●渋谷駅下車徒歩15分、神泉駅下車徒歩5分



EXPOSITION  
SHIZUKA  
MURAYAMA  
60 ans de peinture



長勝寺の庭(潮来町) 1991年 個人蔵



窓辺のミモザ 1993年 個人蔵

セーヌの岸辺から *Un Balcon sur la Seine*

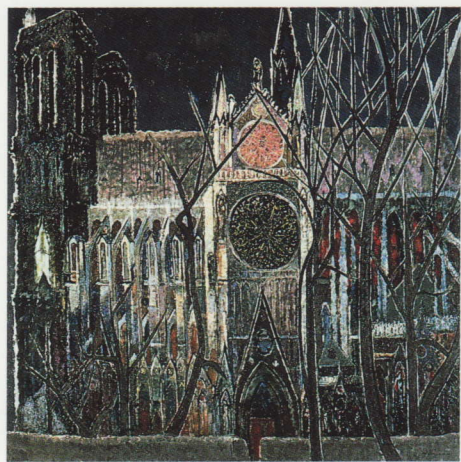
画業60年

# 村山密展

茨城に生まれた村山密は、旧制中学修了後、川端画学校、春陽会洋画研究所に通い、画家としての道を歩み始めました。春陽会では、終生の師となる岡鹿之助の薫陶を受け、春陽会展や文展に入選しつづけてきました。1954年、岡の勧めにより渡仏、藤田嗣治の庇護の下に、多くの画家や詩人などと交わりを結びました。この時の滞在は1年余でしたが、1959年、今度は永住を決意して渡仏、以来、セーヌ河畔に居をかまえて、制作につとめました。1962年にサロン・ドートンヌに初出品して入選、また、パリ16区主催の風景画コンクールでドゴール大統領賞を受賞してフランス画壇にデビューします。その後、サロン・ナショナル・デ・ボザールで外国作家賞(1963)、アニエール展でグランプリ(1964・1982)に輝き、サロン・ドートンヌの審査委員(1979)、絵画部長(1985)を歴任、1991年にはパリ名誉市民賞であるヴェルメイユ勲章、1997年にはシュバリエド・レジオンドヌール勲章を受けています。

その作品は、印象主義とキュビスムの融合を目指した初期の「ロッカマドール」(1962-63)から、山水画的構成を想起させる「ジュラの渓谷」(1969)、鳥瞰図的パリの大パノラマである「シャンゼリゼ」や「パリの屋根 C」、荘厳さをただよわせる「ルーアンの聖堂」など多彩です。そして、多くの作品からは、彼の密という名が示す「しずか、ひそやか、こまやか」な画境が感じられ、正に日本の心を以ってフランスを描いたといえるでしょう。

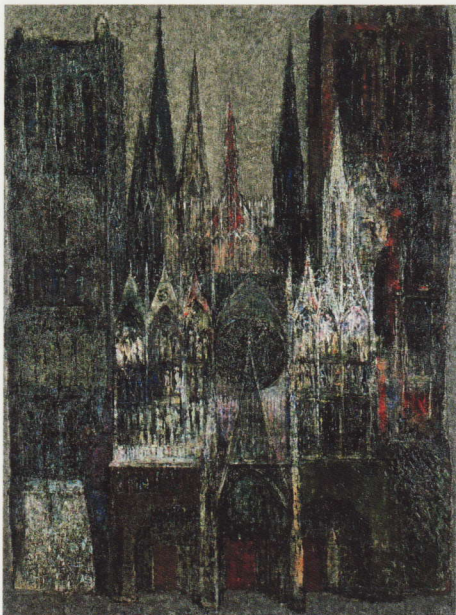
本展では、ムッシュ・ムラの愛称でパリの人々に親しまれている村山密の油彩、パステル、素描など近作を含む約80点を陳列いたします。村山の精神性の高い、詩情溢れる絵画世界、日本の心で描かれたパリの情緒にふれていただきたく思います。



夜のノートルダム寺院 1982年 茨城県近代美術館蔵



雪のトゥルネル橋 1987年 個人蔵



ルーアンの聖堂 1967-70年 個人蔵

●ギャラリートーク

7月2日(日) 午後2時～ 松濤美術館学芸員 味岡義人

●美術映画会

6月11日(日) 午後2時～

「スーラ～点描の画家」「ゴッガン～野生へのあこがれ」

7月9日(日) 午後2時～

「ブルシャンプルー～世界を巡った謎の青」「ピカソ～若き日の天才画家」

●美術相談

6月25日(日) 午後2時～

佐久間公憲(洋画家) 水野道子(水彩画家)

7月16日(日) 午後2時～

茂登山東一郎(洋画家) 新出紀久雄(水彩画家)

